

令和5年度研究計画書

令和5年 4月10日

研究種類	特別研究		
研究課題	効果的な火山防災マップのあり方に関する研究		
研究代表者	久保智弘		
研究期間	令和5年度～令和6年度（2カ年）		
共同研究者	吉本充宏、石峯康浩、本多亮、西澤達治、山河和也(富士山火山防災研究センター)、矢守克也(京都大学防災研究所)	研究協力者	
研究目的		研究目標	
風水害や津波災害での防災マップの表現のあり方などを参考に、防災心理学の側面から住民の正しい避難行動に結びつけるための火山防災マップのあり方を検討することを目的とする。		<ol style="list-style-type: none"> 自分とハザードとの位置関係を認識できる新しい火山防災マップの表現方法を確立する。 適切な避難行動につなげるために災害を認知させる過不足のない情報提供方法を確立する。 	
全体の研究計画	<p>効果的な火山防災マップのあり方について、様々な年代や火山現象の距離に応じた地域でワークショップを行い、新しい火山防災マップの表現方法と適切な避難行動を促すための情報提供について研究を行う。実施方法は、防災行動について心理学的側面から研究を行うため、研究の柱となる「<u>ワークショップのデザイン</u>」を防災心理学の研究者が中心に行い、「<u>ワークショップの実施</u>」を富士山研が中心となり行い、ワークショップ実施後のアンケートやヒアリング調査などによる「<u>効果検証(解析)</u>」と、表現方法や情報提供の「<u>改善</u>」を防災心理学の研究者と富士山研で行う。これら一連の流れをPDCAサイクルで行い、「火山防災マップの表現方法」と「災害を認知させる過不足のない情報提供方法」について研究を行う。(補足資料4)</p> <p>ワークショップでは、事前調査で明らかになった課題について、「<u>自分とハザードとの位置関係</u>」、「<u>何が起こるかの認知</u>」、「<u>どう行動するか考える</u>」の3つの内容について研究を行う。特にワークショップを通じて「なぜ<u>位置関係</u>がわからないのか」「なぜ<u>何が起こるか</u>の理解できないのか」「なぜ<u>回避方法</u>がわからないのか」の「なぜ」を理解・解明することが必要である。そのための「<u>ワークショップのデザイン</u>」について、心理学の側面からのアプローチが不可欠なため、防災心理学の研究者と共に研究を進める。</p>		
	<p>防災マップの表現方法について、風水害や津波災害などの前例を基に研究を進めることから、これまで行われている事例収集も同時に行い、火山災害への適用方法について検討を行う。</p> <p>研究計画</p> <p>[令和5年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 風水害や津波災害の事例収集 ワークショップを行う市町村への協力依頼と調整 市町村と連携し、高齢者で火山ハザードの距離が中間（火山現象の到達までやや時間がある）の地域でのワークショップの実施 PTAや消防団等に属する親世代で火山ハザードとの距離が中間の（火山現象の到達までやや時間がある）地域でのワークショップの実施 防災心理学研究者と火山研究者との意見交換による火山災害特有の課題の把握 <p>[令和6年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度実施した地区での継続的なワークショップの実施 小中学校と連携して児童・生徒(若い世代)で、火山ハザードとの距離が近い(火山現象の到達が速い)地域でのワークショップの実施 PTAや消防団等に属する親世代で火山ハザードとの距離が近い(火山現象の到達が速い)地域でのワークショップの実施 前年度把握した火山災害特有の課題への対応 火山防災マップに関する表現方法の検討 開発した火山防災マップを活用した避難訓練の検討 		

<p>前年度研究計画 及び研究成果</p>	<p>令和5年度からの新規課題のため、なし</p>
<p>当該年度の 実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風水害や津波災害の事例収集 ・ ワークショップを行う市町村への協力依頼と調整 ・ 市町村と連携し、高齢者で火山ハザードの距離が中間（火山現象の到達までやや時間がある）の地域でのワークショップの実施 ・ PTAや消防団等に属する親世代で火山ハザードとの距離が中間の（火山現象の到達までやや時間がある）地域でのワークショップの実施 ・ 防災心理学研究者と火山研究者との意見交換による火山災害特有の課題の把握
<p>期待される 研究成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 富士北麓の市町村や山梨県防災局などが行う火山災害を対象とした避難計画策定に貢献 ● 富士山火山防災協議会や市町村における避難計画策定に貢献 ● 火山災害への理解促進 ● 山梨県防災局火山防災対策室の要望への対応 ● 山梨総合計画 戦略5 快適「やまなし」構築戦略 政策2「災害に強い強靱な県土づくり」 6「富士山の火山活動と防災対策に関する研究及び普及啓発の推進」 ● やまなし科学技術基本計画 ④質の高い地域環境の保全・活用と健康増進分野 「県民生活における安全・安心の確保に関する研究」